

# えもんみっけ!

～市民レポーターのページ～

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!



パークアリーナこまきで行われた時の大会の様子。今年は、コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止されました(残念…)



## REPORT 162

### プロの気分を感じて、夢にチャレンジしてほしい

「優勝するだけが目標ではない。そこで終わりにせず、その先のことを考えられる大会にしたい」と市内、市近郊のサッカーチームを招き「イトウチャレンジカップ」を開催する制服のイトウの伊藤亜矢子社長に話を聞きました。

イトウチャレンジカップはクラブチーム、スポーツ少年団など約20チーム、350人ほどが参加する市内でも最大級の規模を誇るサッカー大会。以前は市サッカー協会主催の大会でしたが、それを引き継ぎ、今年で7回目を迎えます。「やるからにはスポンサーとして、これまでの大会とは違うものにしよ」と、まだ試合に出たことのない子どもたち(小学4、5年生) 限定の参加とし、優勝旗ではなくプロの大会のように優勝杯にし、参加賞を用意するなど工夫を凝らした大会運営をしてきました。



参加資格が、小学4年生と5年生のみですが、皆、頑張っています。女の子もしっかりスタメン!

賞を賞えることでさらに頑張れる、頑張った先に見えるもの、手に入れることができるものを見せてあげたい、大きな夢を見られるような選手を育てたいとワンランク上の環境を子どもたちに提供しています。

当日の大会は、近郊の強いサッカーチームも参加することで刺激にもなり、試合はとて盛り上がり、参加したチームの保護者や観客が感動し涙するほどです。

プロも応援しています

伊藤社長が日本代表の吉田麻也選手と以前から

親交があったことから他の有名選手たちにも広がり、開催時期になると、Jリーガーなど多くの選手が参加賞品としてサイン入りユニホームやグッズを送ってくれ、選手自ら企業に声を掛け、参加賞品を手配してくれることもあります。サブライズで選手が応援に来てくれたり、子どもたちへのアドバイスをしてくれたりなど、全てにおいて関わりをもってくれています。



プロ選手のユニホームなどたくさんの賞品が並び、やる気もマックス!

夢・成長を祈って…

ITO賞(学生服上下プレゼント)の他に、プロサッカー選手の名前を付けた賞や、女子のためのナデシコ賞、サッカー技術だけではなく、スポーツマンシップに優れていた子やチームワークが良かったチームにも賞が

贈られます。

大会は暑い時期の開催が多いため、出場選手や応援に来ている家族のためにジュースのフリードリンクスタンドを用意します。また、プロカメラマンに写真撮影をしてもらい、後日配布するなど至れり尽くせりです。

伊藤さんは、「プロの試合を体感するかのようなささまざまな取り組みが子どもたちの励みになれば」と考えています。以前出場した子供たちが中学生になり、応援に来てくれることもまた嬉しいと話します。

### 編集後記



まめつぞ

この大会がサッカーの練習を頑張っている小学生たちの励みになり、将来小牧市出身のプロサッカー選手が沢山生まれることを考えて、ワクワクしました。とても楽しみでした。

今回の取材先

学生服のITO小牧本店

住所: 小牧2-5-8

電話: 76-0101

営業時間: 9:30~19:30

※日曜、祝日は19:00まで

休業日: 水曜日

# 伝統工芸・漆を伝える 漆師の父と漆芸家の息子

塗師の工房で尾張漆器を直接購入できる愛知県でも唯一の場所、「漆器工芸あさい」。漆器は夏は冷たい飲み物が結露せず、冬は熱いものが冷めにくいって知っていますか？

伝統工芸の匠・浅井源一郎さんと漆芸のアーティスト・浅井啓介さんに話を聞いてきました。



新町のギャラリーではさまざまな漆器が展示

明治時代は愛知の特産品であり、戦前は名古屋でも盛んだった尾張の漆器工芸。今では愛知県に数件程度になりました。

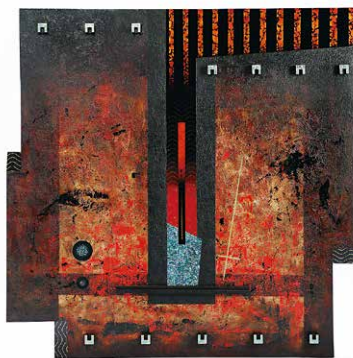
そんな中「あさい」は、初代が戦災を避けて名古屋から小牧に工房を構えて以来、2代目、3代目と火を絶やすことなく輝き続けています。

## 2代目塗師源齋

あさいで購入できる漆器は2代目である塗師源齋と浅井源一郎さんの作品。

7人兄弟の中からただ1人見込まれ、塗師という仕事を継ぎました。プラスチックの台頭、中国からの安価な製品の輸入などから質の高い漆製品が売れなくなるという時代の荒波を耐え、苦しい中「辛抱してやり続けました。」

その確かな腕前で作られる漆器は、色鮮やかで工夫や遊び心が感じられるものばかり。用途がある以上使



3代目浅井啓介さんの作品

ってこそその漆器、飾り物ではありません。「殺菌作用も期待できる漆器は健康をも支えてくれる、塗師は長生きが多いんだよ」と、85歳には見えない肌つやと血色の良さの2代目が話します。

## 3代目漆芸家浅井啓介

塗師であり時絵師でもある3代目。日本画も学び、その作品は日本現代工芸美術展では賞を総なめし、評議員となり、日展では20回以上の入選、特選2回という受賞歴で、現在は審査員を務める芸術家。

10月に犬山の堀部邸で開催した漆芸展では、日本家屋と漆芸の融合、空間全体を作品として展示。

本人がやりたいことをやればいい、という2代目の後押しを受けて活躍する3代目です。金継ぎによる修復や、漆を広めるためのワークショップや教室も主催しています。

## 漆の魅力

日本の代表的な伝統工芸であり、ヨーロッパでも人気の高い漆塗工芸。

中国最古と思われるいましたが、現在は日本で最古の漆器が発掘されました。本物志向が高まる中、確かな良さで人気を取り戻した漆器。

愛知の伝統や文化、芸術を発信する「ザタワーホテルナゴヤ」でも「あさい」の漆器が使われています。もらった命を生かし生涯現役であり続けると語る2代目。長く続ける、ずっとやっていく、それを目指してやっていくと語



レポーターいち押し作品です。

## 漆ギャラリーあさい

●ギャラリー  
住所…新町1-17-2  
電話…76-2440  
※不定休のため、電話にて要連絡

●アトリエ  
住所…東田1-022  
電話…090-9338-5719

●金継ぎ専門店  
住所…名古屋市千種区星が丘元町  
星が丘テラス (ESTR) (ESTR)  
営業日…毎週火曜日、土日不定期

## 今回の取材先



2代目 浅井源一郎さんと3代目 啓介さん

## 編集後記



ヤンメイ

漆器、と聞いて想像したもののより、見せて頂いたものはカラフルで可愛らしい。グラスもあるのだから驚き。

お気に入りを見つけて良いものを長く使う真のエコライフを送りたい。

る3代目。作品も、人も、その魅力にぜひ触れてみてください。